

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	株式会社緒方エッグファーム
取組	(1) 女性が働きやすい環境整備に向けた施設等の確保
構成員数	14 人 (うち、女性数: 11 人) (令和 4 年 3 月時点)

1 事業実施方針

1. 本事業を実施する背景

飼料や飼育方法にこだわり、より価値の高いたまごを生産することによって、直接お客様に販売する BtoB に力を注いできた。さらに、取引先の都合に左右されたりする BtoC の取引や、手数料を支払う必要のある委託販売を減らし、利益率の向上を目指しながら業績の安定を図ってきた。結果、農場店舗や自動販売機などに足を運び、直接購入されるお客様が年々増えてきている。直接販売を中心にしてきたため、コロナ禍においても、大きく影響を受けることなく、逆に自動販売機などは非接触型の販売で、売り上げが伸びてきている。このような状況の中、昨年あたりから、生産量が追いつかないような状況も出てきた。特に平飼い有精卵については、消費者の食への意識の高まりもあり、放し飼いなど、鶏にストレスのない自然な飼育で生産されるたまごを購入したいという方が増え、売り切れで購入できなかったとの声も多く聞かれるようになり、対策が必要となってきた。

2. 本事業で解決する事項と女性農業者の状況

慢性的な供給不足の対策として、令和 4 年度には平飼いの鶏舎の建設を計画し、現状 300 羽の羽数を段階的に 1000 羽に増やしていきたいと考えている。平飼いたまごについては、農場店舗、自動販売機に加え、ネットでの販売にも力を入れていきたい。そのために昨年より、副業人材等を活用し打ち合わせをしている。平飼いのたまごに対する市場のニーズの高まりは、今後も上がることが予想される。

令和 3 年 4 月に大卒の女性新入社員を採用した。農業大学では畜産を学んできおり、飼育管理部に所属している。畜産の中でも養鶏は扱う生き物が小さいので、女性が活躍しやすい業種である。また、飼育に関しても気温や湿度、空気の流れなど細かく観察し、鶏の状況を繊細に把握する必要があるため、女性の持つ特性が活かされやすい。平飼い鶏舎を建設後は彼女を中心に飼育を任せていきたいと考えている。

また、自社で生産だけではなく販売、加工も行っているため、パック詰め、接客などの仕事もあり、こちらも、別の女性社員が主任となりパートの指導やシフト管理等を行っている。弊社において女性の活躍の場は多く、加工も菓子製造であるので女性が従事している。全従業員数 13 名のう

ち 11 名が女性である。これまでも、女性が働きやすいように、鶏舎内での作業を軽減するため、集卵を機械化したり、作業場を広くしたりしてきた。また、併設の店舗も木材を多く使いカフェのような内装にし、養鶏のイメージアップにも取り組んできた。

しかし、職場環境には課題もあり、

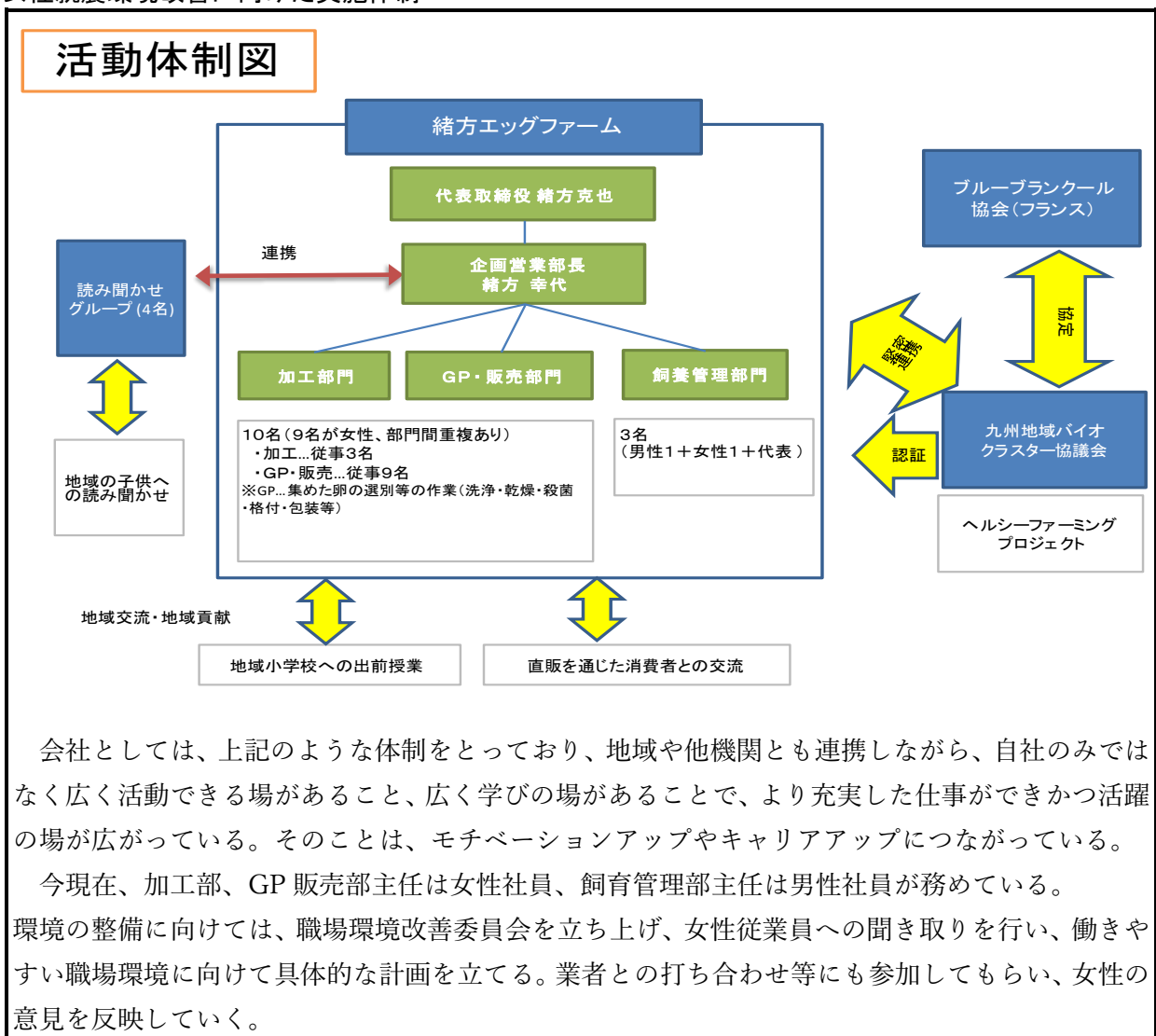
- トイレが男女共用である。
- シャワー室がない。
- ゆっくり休める休憩スペースが確保できていない。

という現状がある。

従業員の 9 割近くが女性である中、女性がより気持ちよく働いてもらえる職場環境にすることで離職を防ぎ、新規採用者の確保を目指したい。平飼いの増羽に伴い、女性が養鶏技術習得することで、自社のみでなく、広く外部指導もできる人材の育成を目指し、活躍の場を広げてほしいと考えている。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制



(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組)	(成果)	
1. 各機関からの見学、実習の受け入れ	1. 農業大学より2名 翔陽高校より3名 支援学校より1名	
2. 県立農業大学への企業説明会への参加	2. 年1回参加	
3. 県立菊池農業高校への企業説明会への参加	3. 養鶏に興味がある生徒に講話	
4. 農業専門求人「アグリメディア」への掲載	4. 新卒を社員として採用	
5. たまご日和や SNS 等で、企業の取り組みを発信 (上記取り組みは継続して行う)	5. 定期的に発信	

(注) 「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組)		
1. 月1回の面談(評価制度の実施) 評価制度を取り入れ、面談で話しをしながら困っていること、できるようになったことなど確認している。	1. 自分で目標を決め、自己評価をしながら、できていることできていないことを確認する。定期的に面談をすることで、いろいろな問題を早期に解決できる。	
2. 専門的な知識技術の取得のための研修	2. 知識を高めることで、	

<p>(獣医との HACCP 会議を月 1 回行う)</p> <p>3. SNS による情報発信</p>	<p>仕事へのモチベーションが上がっている。 農場 HACCP の指導資格を取る。4 月の女性新規就農者は令和 3 年 12 月に農場指導員の研修会を受講修了書を授与された。 3. 鶏の様子を新入社員の目線で発信フォロワーも増えている。</p>	
--	--	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>1. 産前産後、育児休業の取得、育児と仕事を両立できる職場づくり (残業をさせない 土日のシフトの配慮 グループラインでの急な休みに全員で対応など)</p> <p>2. 様々な特技を生かしたイベントの実施 (女性従業員の得意なことを活かしイベントを計画実施) ・月 1 回カレーの日 ・ハンドトリートメントの日 ・絵本読み聞かせ ・お菓子教室の開催</p> <p>3. 地域小学校の見学の受け入れや地域小学校へのゲストティーチャーの派遣</p> <p>4. 土日、夏休み等の子ども連れの出勤の容認 (養鶏業のため毎回土日を休みにはできない)</p>	<p>1. 女性社員が 2020 年 7 月より 2021 年 8 月育児休業を取得。2021 年 9 月より復職、看護休暇等も活用しながら育児と仕事を両立している。</p> <p>2. 自分の得意なことを活かしながら、集客売り上げアップへの貢献ができ、仕事へのやる気にもつながっている。</p> <p>3. 年間 6~7 回 子どもたちへの説明のため自分知識を深めるいい機会になっている。</p> <p>4. 去年は年間延べ 20 日ほどの子ども連れの出</p>	

ので、子育て中の女性でも働きやすいよう子どもを連れての出勤を認めている。）	勤があった。	
---------------------------------------	--------	--

(注) 農業委員等に出出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
2022年9月着工 ～2022年11月 工事完了予定	<p>○男女別のトイレの確保 女性専用トイレの設置（女性11名が使用）</p> <p>○鶏舎内作業が多くなるので女性用シャワー室の設置も併せて行いたい</p> <p>○休憩室の確保 現状、事務所の片隅で休憩をしてもらっているが、独立した休憩スペースを確保することで、ゆっくりと休憩をとってもらいたい。（13名が使用内11名が女性）</p>	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	
②	
③	

【課題解決のための補助事業（概要）】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①	
②	
③	

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	
②	
③	

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①				
①				
②				
③				

（注） 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	4 人
（新規確保女性農業者の内訳）	
自営農業就業者	人、雇用就農者 2人、アルバイト・ボランティア等 2人

（注） 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された方含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。
農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。